

## ゾロ ルーフカウル for ヤマハ マジェスティ S 取付・取扱説明書

### 取り扱いについてのお願い

#### ■ワイパーの使用について

ゾロのスクリーンにはシリコン系ハードコートを施しており、ハードコートをしていないポリカーボネートに比べワイパーの使用による傷が付きにくくなっております。しかしながら、スクリーン表面が水に塗れていない状態でのワイパーの使用や、少雨時での必要以上のワイパーの使用はスクリーン表面のコーティング層を傷つける恐れがあります。スクリーンを長くご使用いただくために、ワイパーのスイッチはこまめに切り替えていただくことをお勧めします。

#### ■スクリーンのお手入れについて

スクリーンの表面を洗浄することで撥水性が保てます。スクリーン、ワイパーブレードの砂埃、汚れは中性洗剤を使用して濡らしたタオル等で拭いてください。また、研磨剤の使用はコーティングが剥がれ本来の性能が損なわれるためお止めください。

#### ■タイヤ空気圧について

タイヤ空気圧はルーフの振動に敏感に大きく影響します。操縦性に悪影響のない範囲でやや低めの設定をお勧めします。

#### ■メンテナンス時のルーフ取り外し要領

整備などでルーフを外す場合はスクリーン側4本、ルーフ上面の4本のウェルナットとフロントカウル運転席側のクリップ2本を外すことで右画像のようにフロントカウル、スクリーン、ワイパー、ルーフを一体で簡単に外すことができます。またウェルナットのゴムが穴に残ったままですとゴムが引っかかり取り外すことができませんのでラジオペンチで引き抜くか、穴の中に押し込んでください。

(ワイパーコードのカプラーを忘れずに抜く)

※取り外しの際、支柱が倒れないように保持してください。



#### ■ウェルナットに関して

ルーフカウルの取付に使用するウェルナットは、一度使用すると膨れて変形しますが、熱湯に漬けることである程度回復し、再利用できることがあります。また変形が残ったものでも、ビードワックスや洗剤などを少量付けることで差し込み易くなりますが、ある程度時間経過した場合、再利用できないことを考えて、脱着の際は事前に新しいウェルナットをご用意ください。(一つ¥100で販売)

### 取付説明

#### ■必要工具

- ・ドリル
- ・ニッパー
- ・内貼りはがしまたはプラスチックヘラ
- ・一般整備工具 (ボックスレンチ、スパナ、ドライバー等)

・10.0φキリ

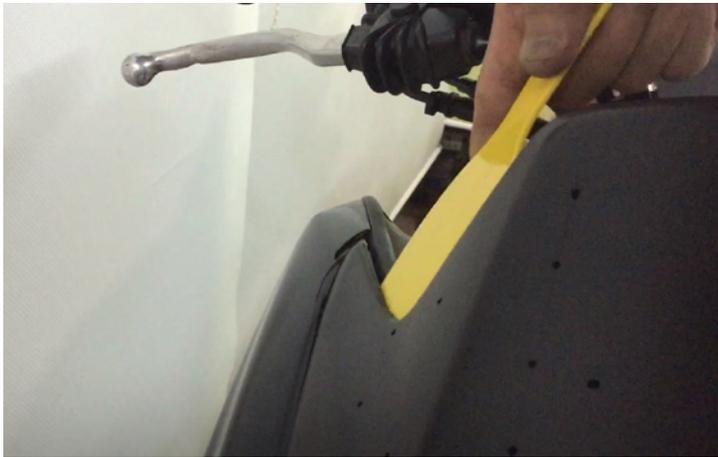
フロントパネルをはずす



01 前面のビスをはずす



02 内張り剥がしやプラスチックのヘラを使って写真の位置をこじる



03 内張り剥がしやプラスチックのヘラを使って写真の位置をこじる

ハンドルカバーをはずす



04 中央のビスをはずす（1ヶ所）



05 矢印で示すビスをはずす（2ヶ所）

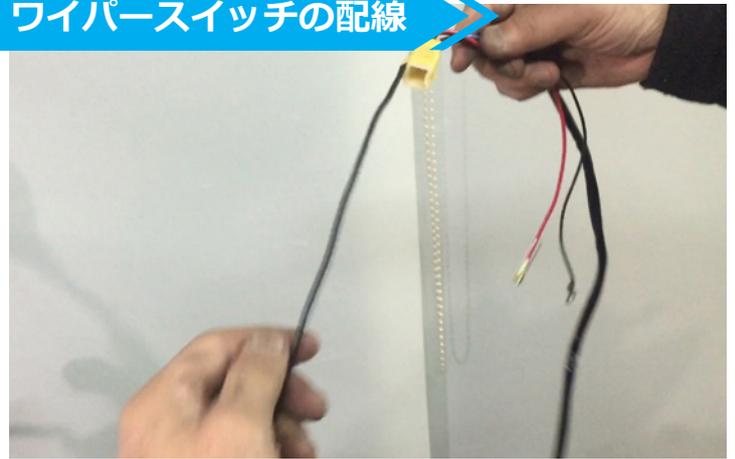


06 左右の爪をはずしてハンドルカバーを取りはずす

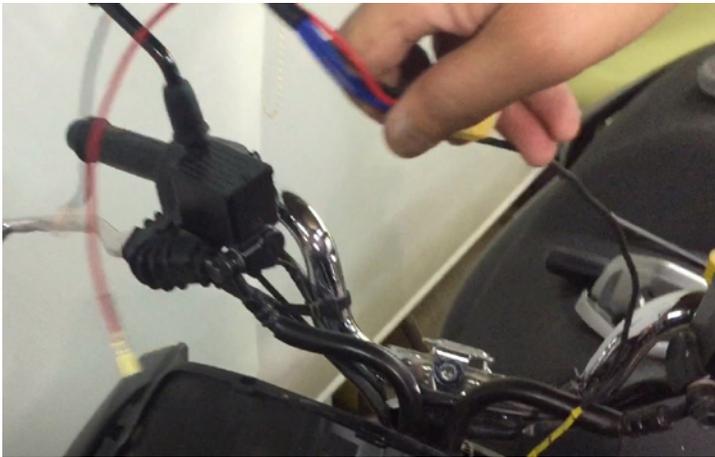
## ワイパースイッチの配線



07 矢印の位置に爪がある



08 ワイパースイッチの線の端をテープで針金等とつなく



09 ハンドルの隙間から針金を通す（針金は緩やかに曲げておくと配線しやすい）



10 前側から針金を引っ張り出し、ワイパースイッチの線から針金をはずす

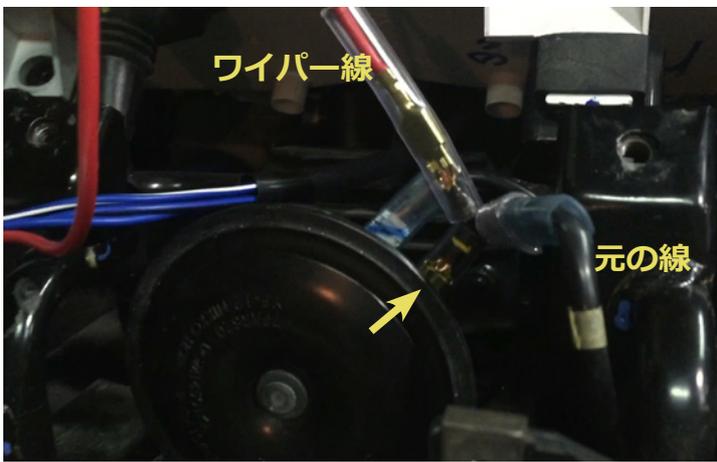
## ワイパー電源の取り出し



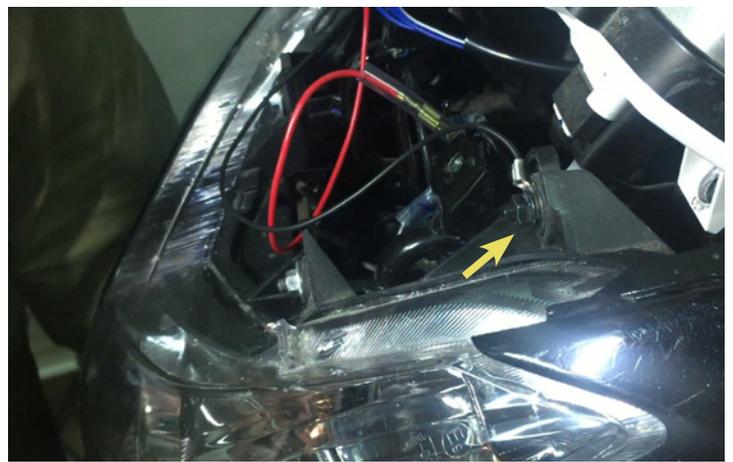
11 ホーンから分岐させてワイパーの電源をとる。矢印で示す線をホーンから抜く。



12 キーをONにして、テスターで12Vが来ているかを確認して、キーをOFFにする



**13** 項目 1 1 で抜いた線の箇所にワイパーの線を代わりに差し込む。ワイパー線の分岐に抜いた元の線を差し込む。付属の三又分岐を使用して写真のように接続する



**14** アースを取る

### ワイパーの作動確認



**15** ワイパーシャフトに目印のテープを巻き、カプラーを繋ぐ



**16** キーをONにし、ワイパーをONにして作動を確認し、ワイパーをOFF、ワイパーシャフトが定位置停止したことを確認してキーをOFF、ワイパーモーターを取りはずす（必ず定位置停止させる）

### ハンドルカバーを元に戻す



**17** ワイパースイッチの線がハンドル中央にくるようにする

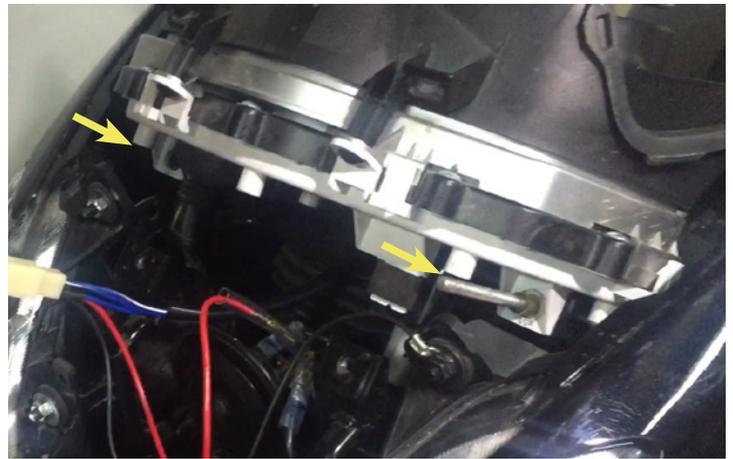


**18** ハンドルカバーを元に戻し、ビスをとめる（3ヶ所）

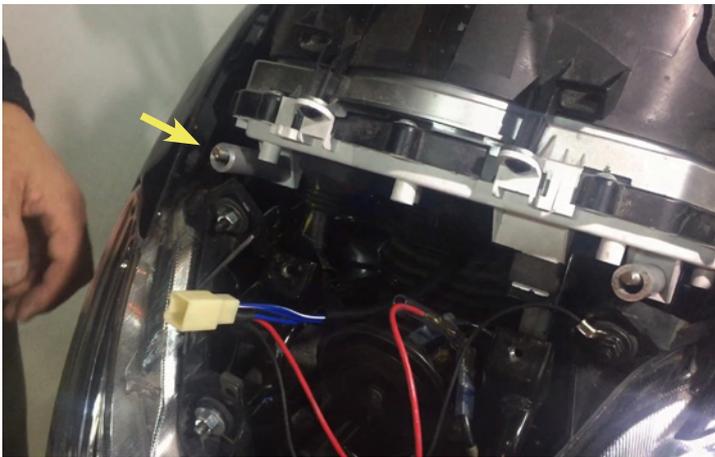
## フロントブラケットの取り付け



19 矢印で示すビスをはずす (左右2ヶ所)



20 スタッドボルト(ずん切り)を取り付ける(左右2ヶ所)



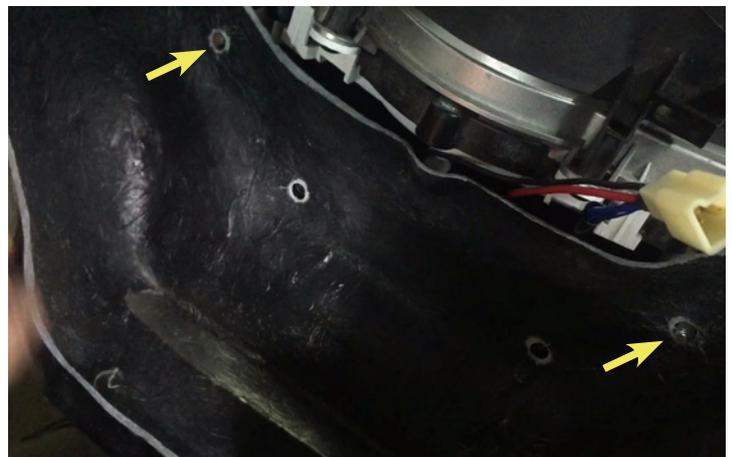
21 スタッドボルトにスペーサーをセットする



22 矢印で示すナットをはずす (左右2ヶ所)



23 ボルトとフロントブラケットを穴を合わせてはめ込む

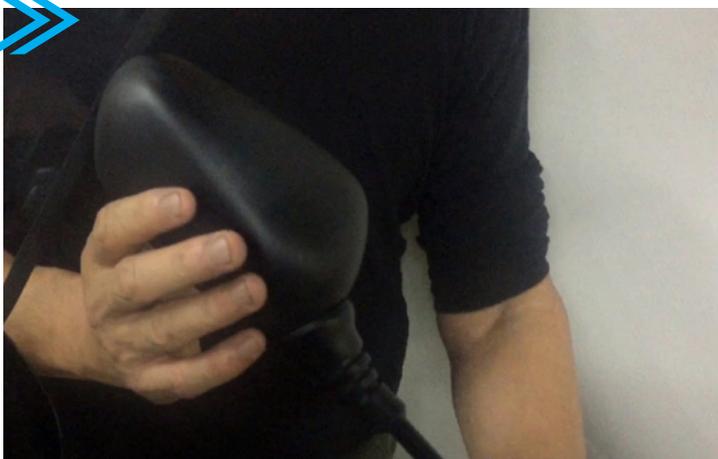




24 ナットをとめる (左右2ヶ所)



25 ビス、ナットをとめる



26 左右のミラーを外す (右は逆ねじになっているため注意する)

フロントカウルの取り付け



27 ワイパーシャフトについているナット、ワッシャー、ゴムを全てはずす



28 フロントカウルにワイパーモーターを取り付ける  
クリップナットのずれをドライバー等で調整して3ヶ所ビスでとめる。



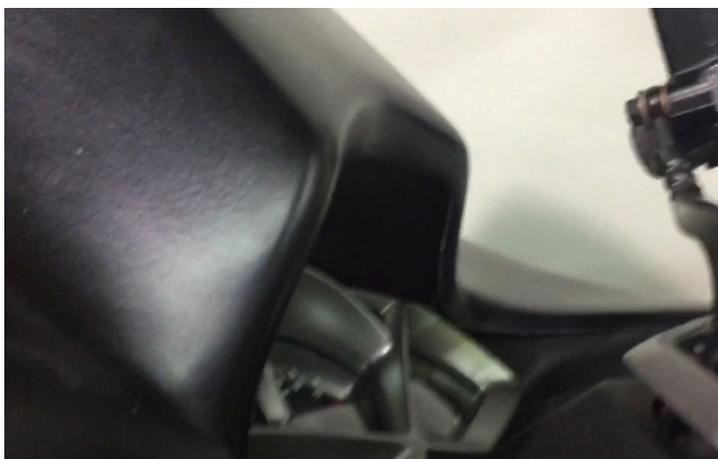
29 メーターパネル上端にスポンジシートを貼る



30 カプラーを繋ぐ



31 フロントブラケットをかぶせる



32 メーター周りがカウル内に収まっていることを確認する



33 スクリーンを取り付ける



34 ウェルナットを下2本だけつける  
最初は仮止めする

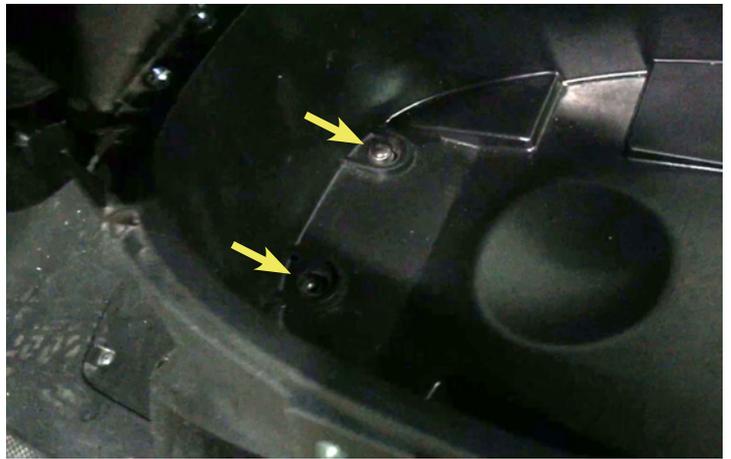


35 必要に応じて付属の調整棒を使用してスクリーンとフロントカウル、フロントブラケットの穴を合わせる

## 支柱ブラケットの取り付け



**36** 矢印のビスをはずす（2ヶ所）



**37** 矢印のビスをはずす（2ヶ所）



**38** 支柱ブラケットをメットインの底の形状に合わせてはめる



**39** 支柱ブラケットの穴をメットインにけがいて写す



**40** メットインを外して、けがいた位置に6.5mmの穴を開ける



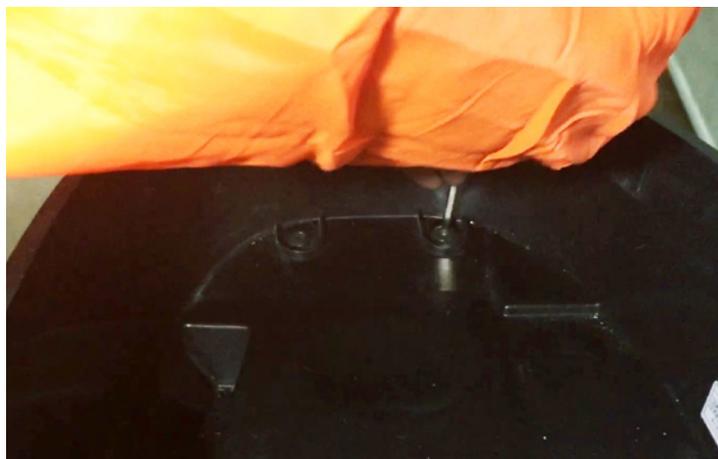
**41** 支柱ブラケットを取り付ける

※ビス頭がメットインの空間側にくるようにとめる（写真ではナットが内側に来ていますが、必ずビス頭が内側に来るようにする）



**42** シートを元に戻す

36、37項ではずしたビスをとめる



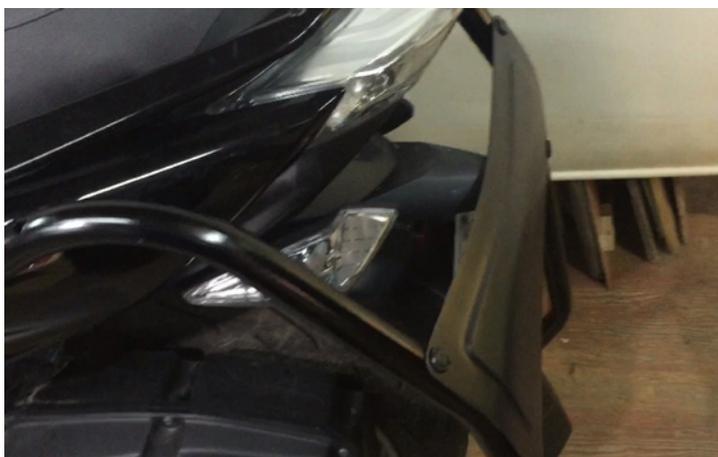
**ルーフ、支柱ブラケットの取り付け**



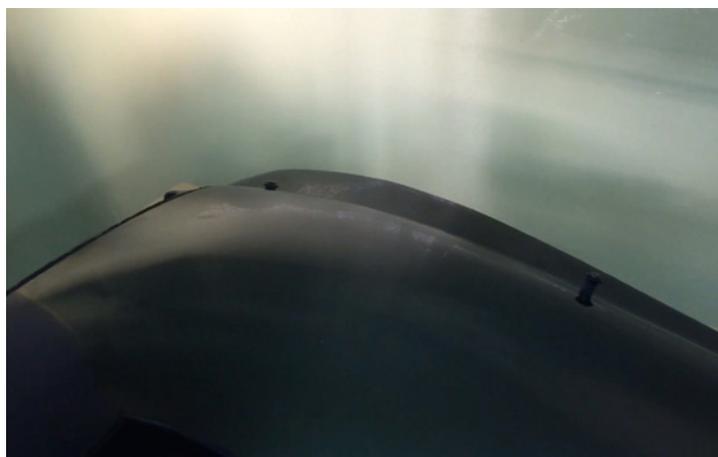
**43** 支柱下端のナット、ワッシャーをはずす



**44** 支柱の背板をウェルナットを使用して取り付ける  
(4ヶ所)



**45** バイク後部に支柱を立てかける



**46** ルーフの穴(4ヶ所)にウェルナットを軽く差し込みバイクのシートの上に置く

## ウェルナットの取扱い方法



ウェルナットは締めるとゴムが膨らんで固定される。締める際には隙間が開かないように押さえて閉めること。



このように隙間が開いたまま締めてしまうと走行中の振動や軋みの原因となるため注意する。



ウェルナットを穴に差し込む際は写真のようにビスとワッシャー、ウェルナット（ゴム部分）が隙間なくついている状態で差し込む。

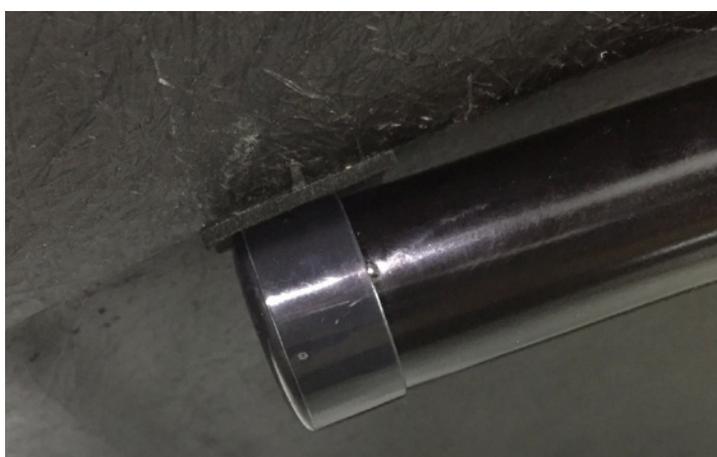


隙間が開いているまま穴に差し込むとウェルナットのツバが穴の内側に入り込んでしまい、振動や軋みの原因になるため注意する

（隙間が開いている場合はドライバーで軽く締めて隙間をなくす。）



**47** ルーフと支柱を押さえながらウェルナットで接続する（4ヶ所）



**48** ルーフと支柱が隙間なくついているか確認する



**49** ルーフと支柱の間に隙間がある場合は一度ウェルナットを緩めて締めなおす



**50** 支柱下端のボルトを支柱ブラケットに差し込み



**51** ルーフの先端がスクリーンに当たらないように注意してスクリーンとルーフを合わせる



**52** スクリーンとルーフを両端2ヶ所を仮締めする  
両端をビスでとめればスクリーンが自立する。



**53** 残りの4ヶ所も仮締めする



**54** 6ヶ所全てを本締めする

## レインモールの取り付け



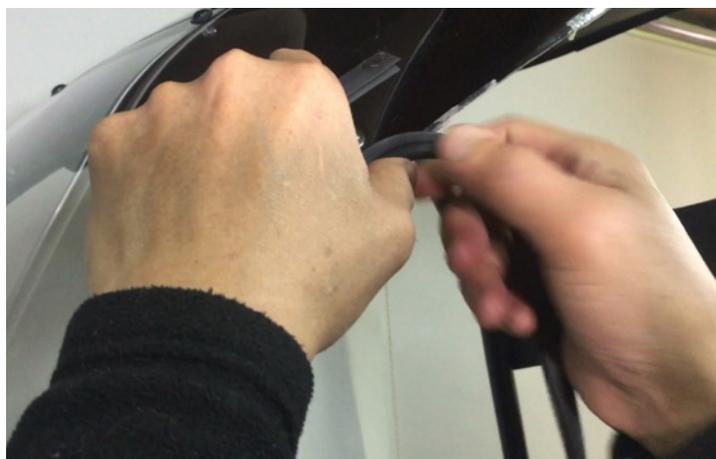
**55** 必ずレインモールの雨どい部分が外側になるように取り付ける



**56** ゴム同士が引っ付いていることがあるので、その場合は指で引っ付いている部分を離す



**57** スクリーンの上の穴より50mm下からつける



**58** ルーフとスクリーンの接続部分は隙間が開かないようにしっかりと押し込む



**59** ルーフ後部のモールに数ミリ被せてカットする



**60** 支柱下端をワッシャーとナットでとめる  
ワッシャーを通してからナットを指で回して仮締めし、工具で締めると作業しやすい。



**61** とめにくい場合はヘラ等でナットを押さえながら締めていく



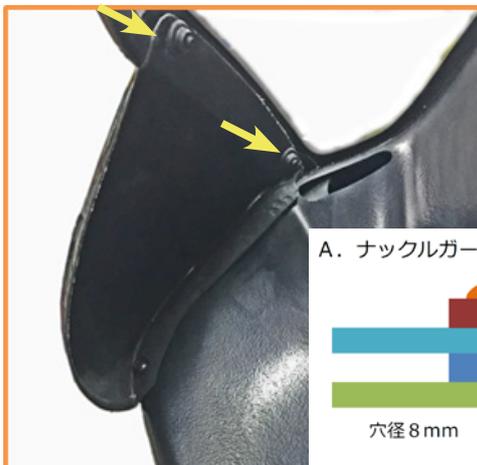
**62** ナットからボルトが1~2mm飛び出すまで締める



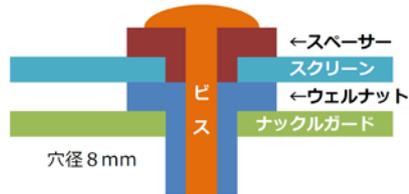
**63** 付属の調整棒でスクリーン、フロントカウル、フロントブラケットの穴を合わせる  
 レインモールを挟んで締めこむため、このような調整が必要になります。



**64** ウェルナットで左右2ヶ所仮締めし、全てのウェルナットを本締めする



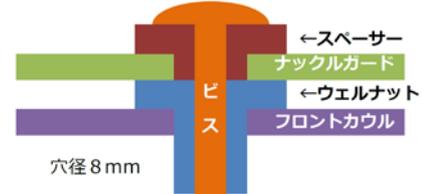
A. ナックルガードとスクリーンの固定



**65** 次項目66の矢印位置にウェルナットを差し込んでから、本項目矢印位置でナックルガードとスクリーンをウェルナットでとめる



B. ナックルガードとフロントカウルの固定



**66** ナックルガードとフロントカウルをウェルナットでとめる



67 ワイパーアームを組み立てるためのビス類を用意する



68 ゴム板をアームとブレードの間に挟みこむ



69 ビスを差し込む



70 裏返してナットを取り付け、ビスの横穴に割りピンを差し込む



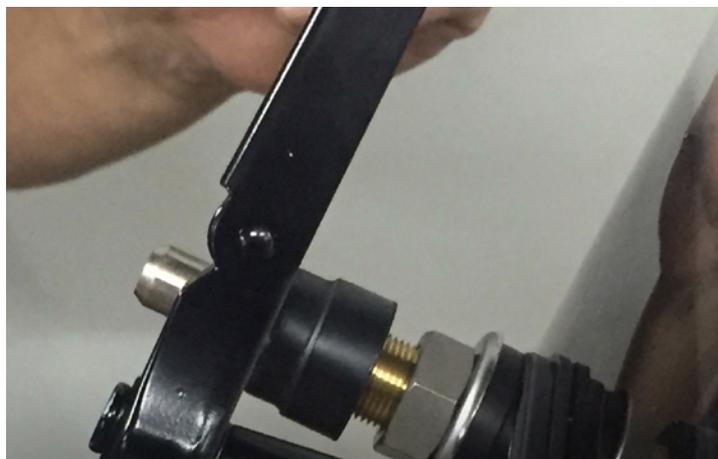
71 マイナスドライバーで割りピンを左右に押し開く



72 小判型のゴム板を取り付ける



**73** ワイパーを取り付けビスでとめる



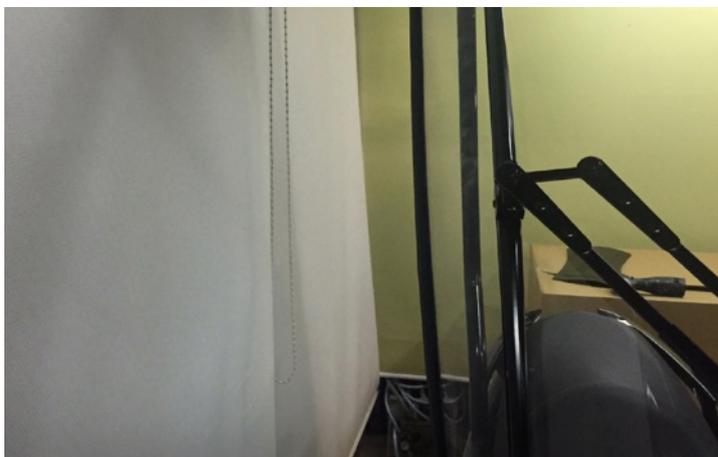
**74** ゴム、ワッシャー、ナット、ゴムの順に取り付ける  
一番上のゴムは写真の位置で正常です。(ゴムのねじ山部分より奥に押し込むとシャフトとの間に隙間ができモーターへの水の浸入の原因になります。)



**75** アーム下端のビスを緩めて



**76** アームをシャフトに差し込む



**77** アクセルグリップ側のスクリーン端から50mmの位置にブレードが来るようにする

※必ずアクセルグリップ側にセットすること。



**78** ブレードがスクリーンと平行でない場合、写真の位置のビスを緩めて



**79** 左右に動かして角度を調整する



**80** アーム下端のビスをしっかりと締める  
※緩むとワイパーの作動位置が正常な範囲からずれます。



**81** シャフトのナットを本締めする



**82** ブレーキレバーがナックルバイザーと干渉するため、内側にずらし、少し下向きにする



**83** ハンドルを切り、ブレーキレバーが干渉しないことを確認する



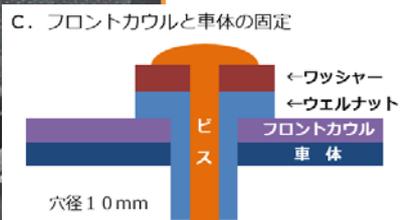
**84** 左右のミラーをつける  
スイッチボックスは左ミラーで共締めする。



**85** ミラーの高さを低く調整する



**86** フロントカウルを押さえながら開いている穴に合わせてバイク側に10mmキリで穴を開ける



**87** フロントカウルと車体とウェルナットでとめる



**90** レインモールとスクリーンを瞬間接着剤で接着する  
レインモール底部にレインモールを閉じたときにはみ出さない程度の適量を10cm間隔で塗布する。(接着剤がはみ出すとその部分が白くなり見栄えが悪くなるため注意する。)



**88** スクリーンとルーフの接合位置を同様に接着する



**89** ルーフ後部まで接着する

以上で取付完了です。